

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：カンショ「高系14号」ウイルスフリー優良系統(No. 204)の育成			
[要約] 「高系14号」ウイルスフリー新配付系統No. 204は、これまでの配付系統に比べ、条溝及び曲がり等の障害の発生が少なく、M・L級の割合が高く、収量は同程度である。			
フリーワード カンショ、高系14号、ウイルスフリー、優良系統			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター育種研究所畑作物育種研究室 協力機関 農業総合研究センター北総園芸研究所畑作物園芸研究室		
実施期間	2003年度～2005年度		

[目的及び背景]

「高系14号」は、「ベニアズマ」におされて作付けが減少傾向にあったが、近年、やや粘質の食味が再評価され、ブランド化も推進されており、良食味で障害等の発生が少なく、いもの形状や揃いの良い優良系統の育成が望まれている。そこで、場内及び現地圃場から選抜した系統をウイルスフリー化し、優良培養系統を選抜してウイルスフリー苗配付用の元株を育成する。

[成果内容]

- 1 現地圃場から収集した優良株をもとに、ウイルスフリーの51培養系統を作出し、障害等の発生が少なく、M・L級の割合が高いNo. 204を2005年度に育成した。
- 2 No. 204の基本的な形質はこれまでの配付系統と同様であるが、次のような特徴を併せもっている。
 - (1) 条溝及び曲がりの発生が少ない(図1、図2、写真1、写真2)。
 - (2) 単価が高いM・L級のいもの割合が高い(図3)。
 - (3) 収量はa当たり250～320kgで、概ね同程度である(図4)。

[留意事項]

[普及対象地域]

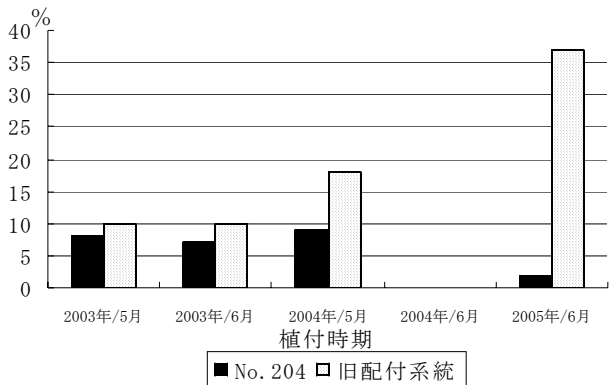
県下カンショ栽培地帯

[行政上の措置]

[普及状況]

No. 204は、2006年度にJA全農ちばに配付を開始した。2006年度の配付数量は、「高系14号」全量の100鉢である。

[成果の概要]



注)2004年 6月はいずれも発生率ゼロ

図1 選抜系統いもの条溝の発生率

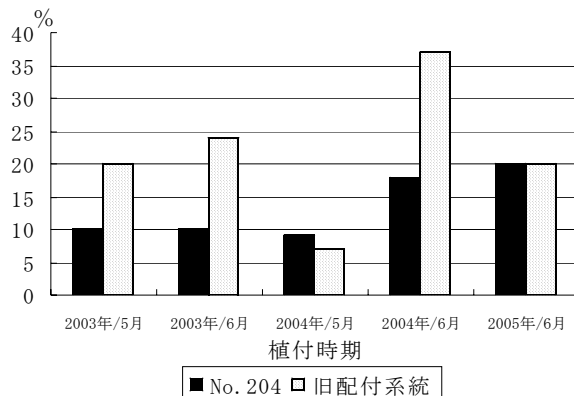


図2 選抜系統いもの曲がりの発生率

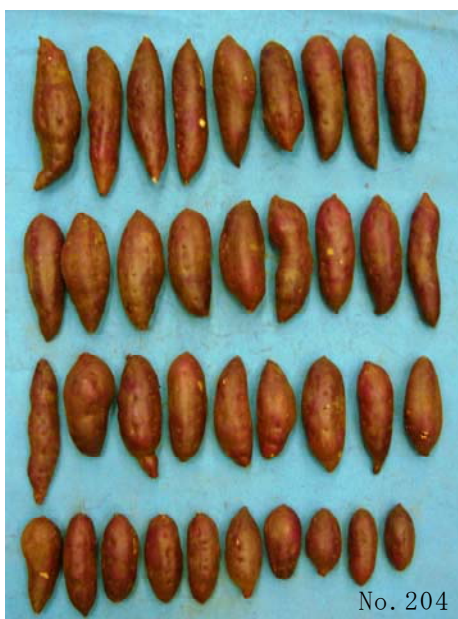


写真1 選抜系統いもの形状 (10株)



写真2 旧配付系統のいもの形状 (10株)

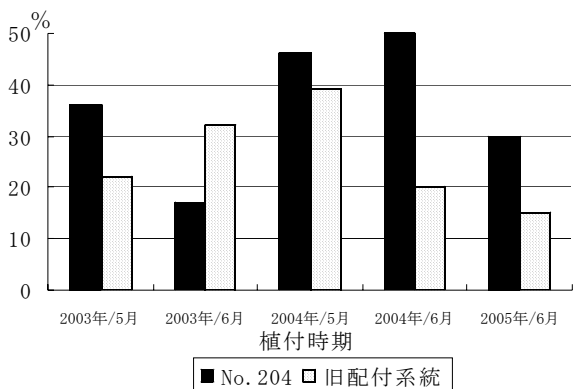


図3 選抜系統いものM・L級の割合

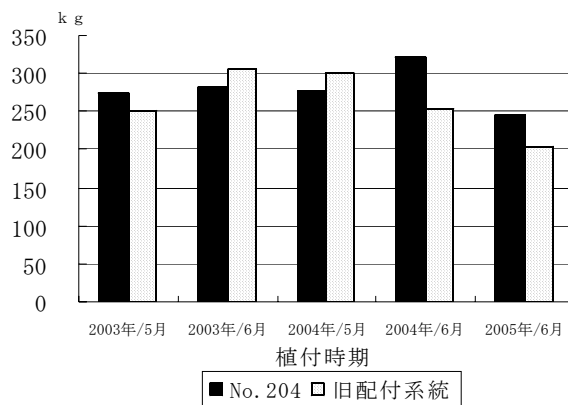


図4 選抜系統いものa当たり換算いも重

[発表及び関連文献]

平成16、17年度育種試験成績書 千葉県農業総合研究センター育種研究所

[その他]